

法政経学部 (主な法律科目) 法科大学院進学向け履修モデルから 法政経学科法学コース (基本七法などの基本的科目だけを抜き出したもの)

	1 年	2 年	3 年	4 年
法曹コース・プログラム	基礎ゼミ 入門基礎法学	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法Ⅰ・Ⅱ 刑法Ⅰ・Ⅱ (必修) 入門基礎法史学	選択必修科目A 民法Ⅲ 民事手続法 会社法 行政法Ⅰ・Ⅱ 刑事手続法	法学演習
		必修科目 2年法学演習 家族法	応用法学科目(必修) 応用憲法Ⅰ 応用民法Ⅰ・Ⅱ 応用刑法Ⅰ	法学演習
法学コース	基礎ゼミ 入門基礎法学	憲法Ⅰ 民法Ⅰ 刑法Ⅰ (必修) 家族法	民法Ⅲ 民事手続法 会社法 行政法Ⅰ・Ⅱ 刑事手続法	法学演習
		憲法Ⅱ 民法Ⅱ 刑法Ⅱ (必修) 2年法学演習	民法Ⅲ 民事手続法 会社法 行政法Ⅰ・Ⅱ 刑事手続法	法学演習

社会科学の基礎を
固める科目群

法学の基礎を固める科目群

- ※ 法政経学部に入學すると、2年次に進級するときに「法学コース」を選択することができます。
- ※ 「法曹コース・プログラム」では、応用法学科目を含めて基本的法分野の学修を最短3年間で終えて、早期卒業により法科大学院に進学することができます。
- ※ 「法曹コース・プログラム」で早期卒業を希望する学生は、1年次前期終了時の選抜に合格する必要があります。
 - ◇ 通常の「法学コース」に進んだ場合でも、3年次前期終了時の選抜に合格し、3年次後期から応用法学科目を受講することで、4年間で「法曹コース・プログラム」所定の科目を履修することもできます。
- ※ 「法曹コース・プログラム」では、**応用法学科目**を履修できます。応用法学科目は、法科大学院で授業を担当する教員が、法科大学院の授業と同じノウハウで担当します。
- ※ 「法曹コース・プログラム」で所定の科目を履修し単位を修得して卒業見込みの者は、千葉大学大学院専門法務研究科入試の特別選抜枠での受験が可能となります。

大学院専門法務研究科 (法科大学院)

1 年	2 年	3 年
民事実務基礎1 刑事実務基礎	民事実務基礎2 刑事実務基礎	法曹倫理 エクステンション 刑事模擬裁判
労働法、独占禁止法、医事法、知的財産法など 多様な科目を開講		展開・先端科目
基礎憲法1 基礎民法1・3 基礎刑法1 基礎公法特論1・2 基礎民事法特論1~4 基礎刑事法特論1・2	基礎憲法2 基礎民法2・4 基礎刑法2 憲法1 行政法1 民法1・2 会社法1 民事訴訟法1 刑法1 刑事訴訟法1	憲法2 行政法2 民法3 会社法2 民事訴訟法2 刑法2 刑事訴訟法2
基礎法学・隣接科目	民法4・5 商法	法律基本科目

特別選抜枠入試

4年卒業

一般入試

社会人、他学部
などから

法学未修者向けの1年次科目。
実質的にこれと同じ授業を基本7法について学部段階で行ってしまうのが、法政経学部の応用法学科目です。

学部卒業レベルの法学知識を身に付けた後で、もう一度、基本7法の理解を根本から鍛え直す。
自分の頭で考えられるようにする千葉大学法科大学院の特徴的な科目群です。

学部と連携・一貫した法曹実務教育。 千葉大学で短期間に実務家に。

- ※ これまで**62.9%が司法試験に合格**。
- ※ 全国の幅広い地域で弁護士として活躍するほか、裁判官・検察官への任官が多いのも特徴です。

2023年からは、法科大学院在学中でも、「修了見込み」と認められれば、司法試験を受けることができます。その場合、法曹コース・プログラムを経ていれば、約6年(学部3年+法科大学院2年+司法修習1年)で法曹資格が取得可能です。

これまでは法科大学院修了後でなければ受験できなかったのが、約8年かかりました。